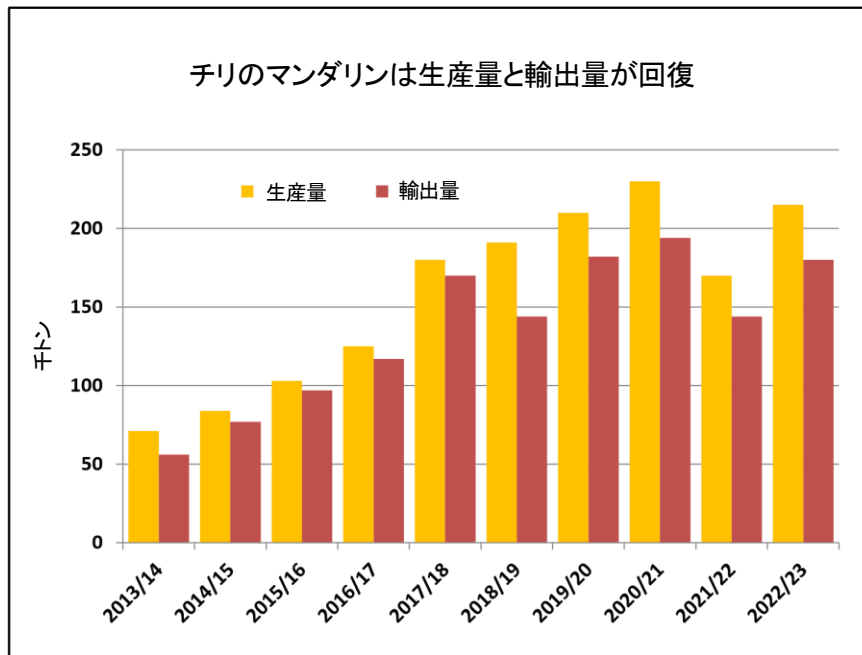


世界の柑橘類事情と市場動向

米国農務省海外農業局 2023年7月27日

チリのマンダリンは生産量と輸出量が回復する見込み

2022/23年度のチリのタンジェリン/マンダリンの生産量は、新しい果樹園の成園化と良好な降雨による収量の増加により、27%増の21万5千トンと推定される。生産量の増加に伴い、輸出量は25%増の18万トンと推定される。チリの販売年度は収穫期の開始とともに4月に始まる。チリからの輸出は4月から12月までで、ピークは9月である。最大の輸出市場は米国であり、輸出量の95%以上を占める。チリの消費量は3万3千トンと推定され、2021/22年度よりも多いが、過去4年間の平均と同程度である。



収益性の高さにより、マンダリン/タンジェリンの栽培面積は2014/15年度の3,996ヘクタールから2022/23年度には推定1万1,184ヘクタールとほぼ3倍に成長した。特に、W.マーコット品種は、マンダリンよりも収益性が低いオレンジや生食用ブドウ、または低温や過度の灌漑に敏感なアボカドなどの他の作物を置き換えるための有望な転換先となっている。コキンボ州はチリで最大のマンダリン産地であり、5,309ヘクタールを有し、これは国内の栽培面積全体の47.4%に相当する。国の中央部に位置するオイギンス州とバルパライン州は、それぞれ栽培面積の21.9%と20.7%を占める。すべてのマンダリン/タンジェリン産地の合計栽培面積は、過去3年間で増加し、今後も毎年約1千ヘクタールずつ増加すると予想される。チリの栽培面積の公式データは、州ごとに3年に1度だけ更新される。

<タンジェリン/マンダリン>

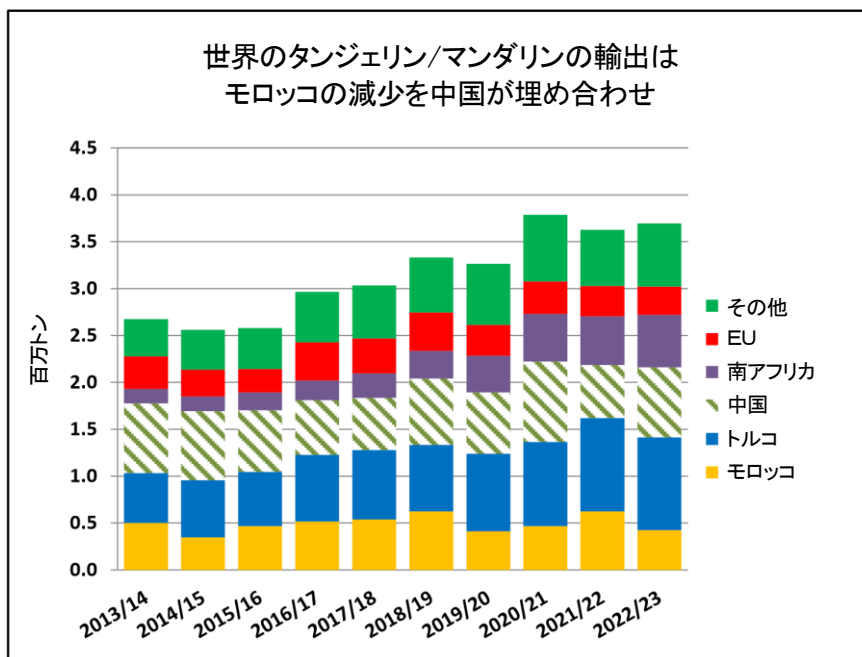
世界の2022/23年度のタンジェリン/マンダリンの生産量は、中国とモロッコでの悪天候による減収のため、90万トン減の3,690万トンと推定される。供給量の減少に伴い、消費量は減少すると予想される。輸出量も減少し(原文のまま)、モロッコでは生産量の減少により輸出量が3割以上減少すると推定される。

中国の生産量は、収量の低下により2%減の2,650万トンと推定されるが、輸出量は増加すると予想される。消費量は、生産量の減少と輸出量の増加に伴い減少する。インドネシアとベトナムが引き続き最大の輸出市場であると予想される。

EUの生産量は、着果期の好条件によるギリシャの生産量の増加が、夏の好ましくない高温によるスペインの生産量の減少を下回ったため、4%減の300万トンと推定される。生産量の減少に伴い、消費量は減少するものと推定される。供給量の減少により輸出量は減少すると予想され、輸入量も減少すると予想される。モ

ロッコと南アフリカが引き続き主要な輸入先国であると予想される。

トルコの生産量は、低温による開花への影響が予想よりも少なかったため、微増の190万トンと推定される。輸出量は横ばいと予想され、供給の増加に伴い消費量が増加する。



モロッコの実産量は、熱ストレス、水不足及び収穫面積の減少により、32%減の92万7千トンと推定される。生産量の減少により、消費量と輸出量はともに減少すると予想される。主な輸出市場は引き続きEU、ロシア、米国であると予想される。

米国の生産量はカリフォルニア州の好天と高い収量により、23%増の81万9千トンと推定されるが、それでも直近5年間で2番目に少ない。輸入量が減少すると見られることから消費量は減少し、供給量の増加により輸出量は増加すると予想される。

南アフリカの実産量は、降雨量が多く主要な産地で灌漑に十分な水資源が確保され、また新しい園地が成園化してきているため、4万1千トン増で史上最高の68万トンと推定される。生産量の増加に伴い消費量と輸出量はともに増加すると予想される。

ペルーの実産量は、出荷シーズンの遅れと早生品種の収穫量の減少の結果として、2万トン減の55万トンと推定される。生産量の減少に伴い消費量は減少するが、輸出量は横ばいと見込まれる。輸出量の3分の2近くが米国に出荷されると予想される。

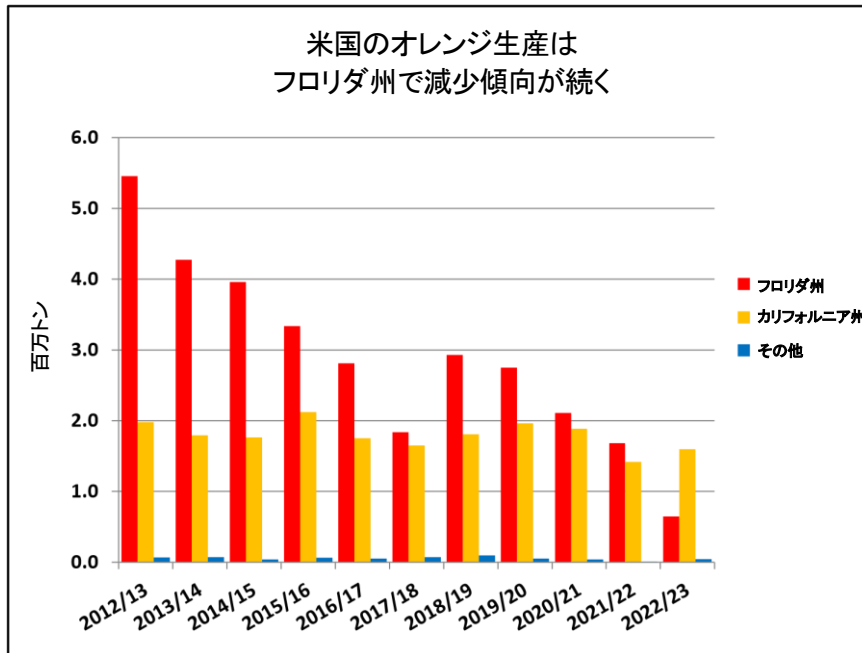
<オレンジ>

世界の2022/23年度のオレンジ生産量は、EU、トルコ及び米国での生産量の減少がエジプトでの増収を上回ったため、5%減の4,780万トンと推定される。生産量の減少と輸出量の増加により、消費量と加工仕向量はともに減少する。

米国の生産量は25%以上減の230万トンと、56年以上ぶりの低水準になると推定される。フロリダ州では、カンキツグリーンング病による落果、収穫面積の減少及びハリケーンの強風により、収量が引き続き減少する。カリフォルニア州は2022/23年度にはフロリダ州の2倍以上のオレンジを生産するものと推定される。消費量と輸出量は横ばいであるが、フロリダ州での生産量の減少により加工仕向量は減少する。

ブラジルの生産量は、稔年のため果樹当たりの着果量が少なく、17万9千トン減の1,680万トンと予測される。ただし、好天により早期の落果率が低下し、収穫される果実の平均重量が増加すると見られる。消費量は

概ね変わらないと予測されるが、供給量が少ないため加工仕向量は減少すると予想される。



中国の生産量は、栽培面積の増加によりわずかに増加し、史上最高の760万トンと予測される。生産量の増加に伴い消費量は増加するものと推定される。輸入量は内需の増加により増加し、より多くの果実が国内消費に向かうため輸出量は減少すると予想される。

EUの生産量は、スペインとイタリアの乾燥した異常に高温の夏の気象条件により、13%減の590万トンと予想される。域内流通量の減少は、輸入によっても十分に満たされないと予想される。その結果、供給の減少に伴い生鮮消費量、加工仕向量、輸出量はすべて減少する。主要な輸入先国は引き続きエジプトと南アフリカであると予想される。

メキシコの生産量は、タマウリパス州とヌエボレオン州に最も深刻な影響を及ぼしたメキシコ北東部での長期にわたる干ばつにより、39万5千トン減の420万トンと推定される。生産量の減少に伴い加工仕向量と輸出量は減少するが、消費量は横ばいである。

エジプトの生産量は、収穫面積の増加と開花中の好天による良好な着果により、60万トン増で過去最高に並ぶ360万トンに達すると推定される。供給量の増加により、消費量が増加するほか、世界的に高いオレンジ需要を満たすために輸出に向かう割合が増加すると予想されることから、過去最高記録に近い輸出量が見込まれる。上位の輸出市場は、EU、ロシア、サウジアラビア等であると予想される。

南アフリカの生産量は、好天と収穫面積の微増の結果として、わずかに増加して史上最高水準の160万トンに達するものと推定される。消費量は減少すると推定され、輸出量は、輸出可能な供給量が増えるのにつれて増加する(3年連続で記録更新)ものと推定される。EUが引き続き最大の輸出市場であると予想される。

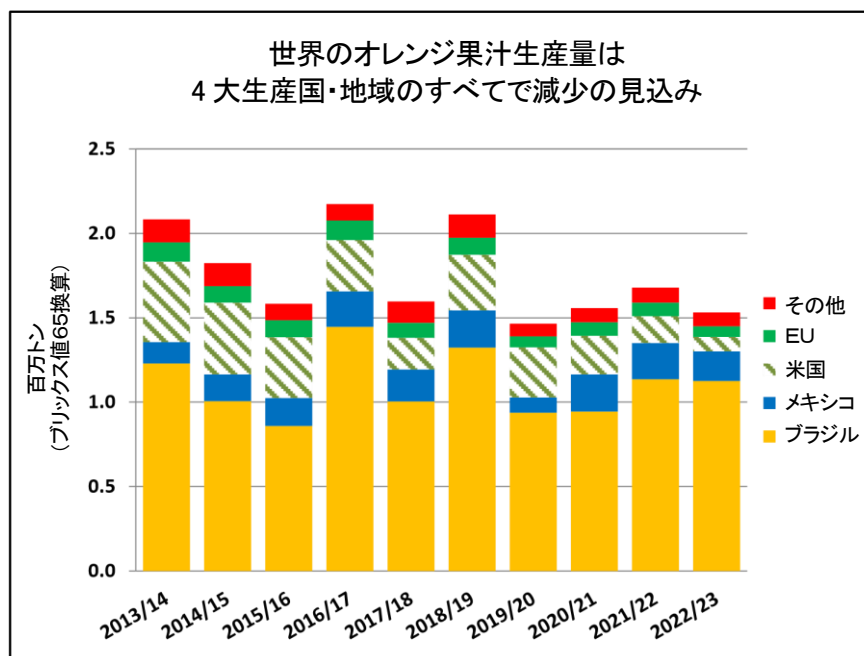
トルコの生産量は、寒波が開花に影響を与えたため、43万トン減の130万トンと推定される。供給量の減少に伴い、消費量と輸出量は減少すると予想される。

モロッコの生産量は、収穫面積の減少と、生育期間中の悪天候と水不足による収量の減少により、36万7千トン減の78万3千トンと推定される。供給量の減少により、消費量と輸出量は3割以上減少すると予測される。EUが引き続き最大の輸出市場であると予想される。

チリの生産量は、予想される好天(昨年は霜が降った)と収穫面積の微増により、1万トン増の17万4千トンと推定される。出回り量の増加に伴い、消費量と輸出量は増加するものと推定される。米国は引き続き約90%の市場シェアを持つ最大の輸出市場であると予想される。

＜オレンジ果汁＞

世界の2022/23年度のオレンジ果汁生産量は、9%減の150万トン(ブリックス値65換算)と推定される。ブラジル、EU、メキシコ及び米国で加工に仕向けられる果実が減少したため、生産量は減少する。消費量はほぼ横ばいであるが、供給量の減少により輸出量は減少するものと推定される。



ブラジルの生産量は、加工に仕向けられるオレンジが少ないため、微減の110万トンと予測される。オレンジ果汁の消費量は着実に増加しているため、消費量は増加すると予想される。供給量の減少に伴い輸出量はわずかに減少し、在庫は横ばいである。ブラジルは突出して最大の生産国であり、世界のオレンジ果汁輸出量の4分の3を占めると予想される。

メキシコの実生産量は、加工に仕向けられるオレンジの減少の結果として、18%減の17万6千トンと予測される。需要の増加により消費量は増加するが、供給の減少に伴い輸出量は減少すると推定される。米国は引き続き最大の輸出市場であると予想される。

米国の生産量は、特にフロリダ州で加工用に仕向けられるオレンジの減少により、50%近く減少して史上最低水準となる8万5千トンと推定される。消費量は生産量の減少に伴い減少すると推定されるが、輸入量が30%以上増加すると推定されるため、消費量の減少はいくらか軽減される。

EUの実生産量は、加工用に仕向けられるオレンジの減少により、21%減の6万4千トンと推定される。供給量の減少に伴い輸出量が減少すると推定され、消費量は横ばいである。

＜グレープフルーツ＞

世界の2022/23年度のグレープフルーツ生産量は、中国、メキシコ、トルコ、米国での悪天候と生産量の減少により、2%減の680万トンと推定される。供給量の減少に伴い、消費量、加工仕向量、輸出量はすべて減少する。

＜レモン/ライム＞

世界の2022/23年度のレモン/ライムの生産量は、アルゼンチン、EU、トルコ、米国での悪天候による減収により、11%減の910万トンと推定される。供給量が少ないため、世界の消費量と加工仕向量が減少し、輸出量は横ばいとなる。

オレンジ(生鮮) 主要国の生産需給統計(千トン)

	2018/19	2019/20	2020/21	2021/22	2022/23 1月推計	2022/23 7月推計		2018/19	2019/20	2020/21	2021/22	2022/23 1月推計	2022/23 7月推計
	生産量								輸出量				
ブラジル	19,298	14,870	14,676	16,932	16,524	16,753	エジプト	1,703	1,493	1,701	1,300	1,700	1,700
中国	7,200	7,400	7,500	7,550	7,600	7,600	南アフリカ	1,186	1,260	1,296	1,299	1,380	1,363
EU	6,800	6,268	6,531	6,720	5,854	5,856	EU	494	417	410	403	390	390
メキシコ	4,716	2,530	4,649	4,595	4,200	4,200	米国	479	507	467	335	285	330
エジプト	3,600	3,200	3,570	3,000	3,600	3,600	トルコ	301	293	223	389	291	185
米国	4,923	4,766	3,981	3,108	2,452	2,288	オーストラリア	198	181	160	145	180	180
南アフリカ	1,590	1,414	1,511	1,609	1,650	1,630	チリ	100	90	105	86	105	90
ベトナム	855	1,017	1,161	1,583	1,150	1,583	モロッコ	155	117	92	130	80	80
トルコ	1,900	1,700	1,300	1,750	1,400	1,320	メキシコ	60	65	69	76	75	67
モロッコ	1,183	806	1,039	1,150	750	783	香港	167	117	87	68	70	65
アルゼンチン	800	700	750	830	800	623	アルゼンチン	85	83	88	63	60	55
オーストラリア	515	485	505	535	505	505	中国	55	52	100	64	70	45
コスタリカ	295	285	290	300	305	305	サウジアラビア	15	12	11	12	12	12
チリ	140	135	200	164	200	174	シンガポール	6	4	3	5	5	6
グアテマラ	178	170	167	168	180	168	マレーシア	5	3	5	5	5	5
その他	309	356	356	416	358	377	その他	45	55	18	15	8	11
合計	54,302	46,102	48,186	50,410	47,528	47,765	合計	5,054	4,749	4,835	4,395	4,716	4,584
生鮮国内消費量							輸入量						
中国	7,059	7,240	7,291	7,460	7,520	7,565	EU	881	960	859	740	835	835
EU	5,878	5,963	5,954	5,947	5,640	5,470	サウジアラビア	417	381	439	422	435	455
ブラジル	4,961	4,967	4,582	4,669	4,636	4,690	ロシア	462	432	453	262	455	450
メキシコ	2,486	1,596	2,416	2,391	2,400	2,398	イラク	195	259	221	291	230	260
ベトナム	906	1,062	1,235	1,634	1,200	1,618	英国	275	256	242	250	250	250
エジプト	1,537	1,372	1,519	1,400	1,600	1,600	中国	434	292	241	223	230	230
米国	1,259	1,409	1,234	1,183	1,207	1,168	バングラデシュ	172	218	294	172	250	200
トルコ	1,539	1,348	1,018	1,296	1,044	1,068	米国	193	200	218	236	180	185
モロッコ	968	654	897	965	630	663	カナダ	186	198	186	187	190	180
ロシア	540	501	513	329	518	518	香港	332	270	208	191	190	180
サウジアラビア	402	369	428	410	423	443	UAE	191	234	190	146	200	160
イラク	268	393	364	449	373	418	マレーシア	106	87	104	120	120	110
アルゼンチン	410	428	478	569	542	371	韓国	126	116	110	78	75	85
英国	243	219	238	250	250	250	スイス	70	73	74	71	72	72
グアテマラ	212	208	216	209	228	213	日本	85	91	86	72	80	66
その他	1,771	1,832	1,888	1,784	1,820	1,698	コスタリカ	66	71	68	52	65	60
合計	30,439	29,561	30,271	30,945	30,031	30,151	ウクライナ	95	89	88	75	74	60
加工仕向量							グアテマラ	34	38	49	45	48	45
ブラジル	14,362	9,915	10,118	12,291	11,913	12,090	トルコ	45	51	46	45	45	43
メキシコ	2,200	900	2,200	2,150	1,760	1,760	シンガポール	44	42	41	42	42	42
米国	3,378	3,050	2,498	1,826	1,140	975	ベトナム	51	45	74	51	50	35
EU	1,309	848	1,026	1,110	659	831	ノルウェー	33	30	32	33	34	33
エジプト	360	335	350	300	300	300	ブラジル	29	21	24	28	25	27
中国	520	400	350	249	240	220	メキシコ	30	31	36	22	35	25
コスタリカ	216	213	215	212	221	218	オーストラリア	16	16	11	10	15	15
オーストラリア	210	195	226	215	210	210	その他	15	11	14	18	14	18
アルゼンチン	307	190	186	200	200	200	合計	4,583	4,512	4,408	3,882	4,239	4,121
南アフリカ	333	76	123	180	184	155							
その他	197	182	196	219	193	192							
合計	23,392	16,304	17,488	18,952	17,020	17,151							

分割年表示は収穫販売年度を表し、北半球では概ね第1年次の11月から第2年次の10月の期間に該当する。
 南半球では、収穫はほぼ第2年次を通じて行われ、収穫販売年度は第2年次に始まる次の期間である。
 アルゼンチン 1月から12月、南アフリカ 2月から翌年1月、オーストラリア 4月から翌年3月、ブラジル 7月から翌年6月
 輸入量の合計と輸出量の合計は、上記の販売年度の相違等により一致しないことがある

オレンジ果汁 主要国の生産需給統計
(ブリックス度 65 換算、千トン)

	2018/19	2019/20	2020/21	2021/22	2022/23 1月推計	2022/23 7月推計
生産量						
ブラジル	1,324	938	944	1,135	1,119	1,125
メキシコ	220	90	220	215	176	176
米国	329	297	230	159	125	85
EU	101	66	80	81	55	64
南アフリカ	63	14	22	33	33	31
中国	40	31	27	19	18	17
オーストラリア	16	14	17	17	16	16
その他	18	16	17	20	17	17
合計	2,112	1,465	1,557	1,678	1,559	1,532
国内消費量						
EU	627	589	585	536	543	534
米国	530	556	542	527	498	477
中国	108	89	108	129	139	139
英国	160	193	165	138	137	137
カナダ	85	84	77	79	80	79
ブラジル	52	63	70	73	80	75
日本	70	60	68	65	65	65
その他	79	76	73	81	81	81
合計	1,711	1,710	1,688	1,628	1,623	1,588
期末在庫量						
米国	376	293	240	155	165	150
EU	15	15	15	15	15	15
南アフリカ	36	17	12	12	18	13
ブラジル	312	151	15	9	13	9
日本	26	40	22	15	5	5
その他	25	8	8	8	7	7
合計	791	524	312	215	223	200
輸出量						
ブラジル	1,120	1,036	1,010	1,068	1,040	1,050
メキシコ	195	105	217	210	171	171
EU	157	162	132	112	82	90
南アフリカ	30	30	22	26	25	24
米国	30	34	31	31	27	23
その他	60	40	32	28	27	27
合計	1,591	1,407	1,444	1,475	1,372	1,385
輸入量						
EU	683	685	637	567	570	560
米国	346	210	290	314	410	410
英国	188	210	172	141	140	140
中国	70	60	83	112	122	125
カナダ	85	84	77	79	80	79
日本	75	76	50	58	55	55
オーストラリア	18	20	13	18	19	19
その他	45	40	41	38	39	39
合計	1,510	1,385	1,363	1,327	1,435	1,427

ブリックス度65の1トン(メートル法)はブリックス度42の344.8ガロン及び天然果汁の1,392.6ガロンに相当する。
分割年表示は収穫販売年度を表し、北半球では概ね第1年次の10月から第2年次の9月の期間に該当する。
南半球では、収穫はほぼ第2年次を通じて行われ、収穫販売年度は第2年次に始まる次の期間である。
南アフリカ 2月～翌年1月、オーストラリア 4月～同3月、ブラジル 7月～同6月
輸入量の合計と輸出量の合計は、上記の販売年度の相違等により一致しないことがある。

タンジェリン/マンダリン(生鮮) 主要国の生産需給統計
(千トン)

	2018/19	2019/20	2020/21	2021/22	2022/23 1月推計	2022/23 7月推計
生産量						
中国	22,000	23,000	25,000	27,000	26,500	26,500
EU	3,209	2,889	3,245	3,158	3,013	3,035
トルコ	1,650	1,400	1,600	1,810	1,480	1,860
モロッコ	1,375	926	1,205	1,360	900	927
日本	994	962	976	954	921	921
米国	1,004	856	1,083	668	820	819
南アフリカ	375	461	591	639	670	680
韓国	608	631	655	613	595	595
ペルー	503	526	540	570	550	550
アルゼンチン	430	330	380	380	380	285
その他	760	730	751	680	765	751
合計	32,908	32,711	36,026	37,832	36,594	36,923
生鮮国内消費量						
中国	20,735	21,768	23,577	25,889	25,410	25,225
EU	2,870	2,694	3,041	3,018	2,990	2,905
トルコ	969	614	740	868	539	925
米国	956	1,004	1,048	929	985	870
日本	948	902	930	895	866	868
ロシア	893	816	943	865	885	848
韓国	543	552	571	542	520	523
その他	2,967	2,650	3,245	3,048	2,896	2,695
合計	30,881	31,000	34,095	36,054	35,091	34,859
加工仕向量						
中国	620	620	630	600	580	580
EU	271	272	277	248	133	240
米国	317	198	355	193	190	185
南アフリカ	59	47	44	76	65	73
韓国	63	77	78	66	70	70
日本	64	80	68	71	69	69
アルゼンチン	113	76	60	70	60	60
その他	71	70	61	60	77	77
合計	1,578	1,440	1,573	1,384	1,244	1,354
輸出量						
トルコ	712	827	898	994	990	990
中国	706	657	857	566	570	745
南アフリカ	296	389	507	521	560	560
モロッコ	623	411	466	625	325	425
EU	407	330	350	322	300	300
ペルー	158	214	215	220	200	222
チリ	144	182	194	144	200	180
その他	287	255	300	235	302	273
合計	3,333	3,265	3,787	3,627	3,447	3,695
輸入量						
ロシア	903	824	955	867	890	850
EU	339	407	423	430	410	410
英国	292	298	296	286	290	295
ベトナム	160	204	321	218	225	290
米国	314	391	375	484	400	285
カナダ	157	159	162	166	167	155
ウクライナ	171	184	201	173	165	130
インドネシア	73	69	98	112	115	110
フィリピン	101	112	174	114	125	95
マレーシア	69	58	64	76	76	76
その他	305	288	360	307	325	289
合計	2,884	2,994	3,429	3,233	3,188	2,985

分割年表示は収穫販売年度を表し、北半球では概ね第1年次の10月から第2年次の9月の期間、南半球では概ね第1年次の4月から第2年次の3月の期間に該当する。
南半球では、収穫はほぼ第2年次を通じて行われる。
輸入量の合計と輸出量の合計は、上記の販売年度の相違等により一致しないことがある。

グレープフルーツ(生鮮) 主要国の生産需給統計(千トン)

	2018/19	2019/20	2020/21	2021/22	2022/23 1月推計	2022/23 7月推計
生産量						
中国	4,900	4,930	4,950	5,200	5,150	5150
メキシコ	473	491	491	453	420	420
南アフリカ	372	345	351	416	385	420
米国	548	517	397	339	294	303
トルコ	250	249	238	249	186	198
イスラエル	139	143	121	175	190	190
EU	108	95	106	106	109	99
その他	26	27	27	27	27	27
合計	6,816	6,797	6,681	6,965	6,761	6807
生鮮国内消費量						
中国	4,713	4,797	4,867	5,134	5,110	5070
メキシコ	361	376	472	440	402	412
EU	366	374	362	299	297	288
米国	213	250	231	170	167	187
ロシア	158	119	77	65	50	90
トルコ	112	65	77	103	60	72
日本	89	86	79	70	65	60
カナダ	35	37	37	31	33	30
イスラエル	8	6	7	16	30	30
英国	26	28	27	23	25	22
その他	50	61	55	42	42	38
合計	6,131	6,199	6,291	6,393	6,281	6299
加工仕向量						
南アフリカ	107	94	59	179	138	198
米国	292	226	138	159	126	113
イスラエル	77	78	60	97	80	80
中国	0	0	50	60	45	45
EU	19	14	13	13	12	11
その他	96	98	3	3	3	3
合計	591	510	323	511	404	450
輸出量						
南アフリカ	258	244	290	238	245	220
トルコ	138	184	161	149	126	126
中国	248	209	158	117	115	125
イスラエル	54	59	54	62	80	80
米国	57	56	48	34	20	21
EU	29	27	26	17	15	15
メキシコ	20	21	21	15	20	10
その他	25	29	28	14	17	8
合計	829	829	786	646	638	605
輸入量						
EU	306	320	295	223	215	215
中国	61	76	125	111	120	90
ロシア	158	121	78	65	50	90
日本	64	61	54	45	40	35
カナダ	35	37	37	31	33	30
英国	30	31	28	23	25	22
香港	27	31	34	23	27	18
ウクライナ	29	39	37	23	23	18
米国	14	15	20	24	19	18
スイス	7	7	7	6	6	6
その他	4	3	4	11	4	5
合計	735	741	719	585	562	547

分割年表示は収穫販売年度を表し、北半球では概ね第1年次の10月から第2年次の9月の期間、南半球では概ね第1年次の4月から第2年次の3月の期間に該当する。
南半球では、収穫はほぼ第2年次を通じて行われる。
輸入量の合計と輸出量の合計は、上記の販売年度の相違等により一致しないことがある。

レモン/ライム(生鮮) 主要国の生産需給統計(千トン)

	2018/19	2019/20	2020/21	2021/22	2022/23 1月推計	2022/23 7月推計
生産量						
メキシコ	2,686	2,851	2,870	2,954	2,800	2,800
アルゼンチン	1,780	1,491	1,800	2,050	1,770	1,650
EU	1,683	1,481	1,733	1,630	1,567	1,474
トルコ	1,100	950	1,100	1,500	1,200	1,320
米国	909	983	804	960	853	777
南アフリカ	492	620	627	748	660	653
チリ	173	204	200	136	200	172
その他	210	226	228	226	220	223
合計	9,033	8,806	9,362	10,204	9,270	9,069
生鮮国内消費量						
メキシコ	1,542	1,549	1,757	1,977	1,955	1,775
EU	1,631	1,514	1,837	1,829	1,731	1,642
米国	1,361	1,407	1,426	1,387	1,350	1,311
トルコ	476	520	433	762	553	675
ロシア	229	221	255	239	229	219
サウジアラビア	164	188	183	190	202	204
英国	157	154	146	148	149	139
アルゼンチン	170	160	150	150	130	130
カナダ	102	109	108	112	111	110
UAE	106	101	102	105	104	101
その他	347	378	381	360	384	378
合計	6,285	6,301	6,778	7,259	6,898	6,684
加工仕向量						
アルゼンチン	1,377	1,078	1,388	1,644	1,406	1,323
EU	376	314	292	287	256	252
メキシコ	397	507	350	300	250	250
米国	240	301	158	333	258	240
トルコ	50	51	50	50	50	50
南アフリカ	122	138	103	159	63	40
日本	32	28	28	28	19	19
その他	15	18	16	12	15	15
合計	2,609	2,435	2,385	2,813	2,317	2,189
輸出量						
メキシコ	751	798	769	686	600	780
トルコ	576	382	620	693	600	600
南アフリカ	350	458	499	557	570	570
アルゼンチン	234	256	264	258	235	200
EU	172	174	155	142	140	140
米国	96	93	81	87	95	81
チリ	90	97	102	56	100	75
その他	45	43	32	17	15	22
合計	2,314	2,301	2,522	2,496	2,355	2,468
輸入量						
米国	788	818	861	847	850	855
EU	496	521	551	628	560	560
ロシア	232	225	259	240	230	220
サウジアラビア	126	144	130	134	145	150
英国	161	161	148	149	150	140
カナダ	102	109	108	112	111	110
UAE	101	93	94	96	95	92
日本	59	48	44	46	50	48
ウクライナ	55	59	65	49	55	42
香港	36	31	37	29	30	28
その他	19	22	26	34	24	27
合計	2,175	2,231	2,323	2,364	2,300	2,272

分割年表示は収穫販売年度を表し、北半球では概ね第1年次の10月から第2年次の9月の期間である。
南半球では、収穫は第2年の1月から12月に行われる。
輸入量の合計と輸出量の合計は、上記の販売年度の相違等により一致しないことがある。